

2022年3月1日

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

## 東京ドームでパナソニックの顔認証技術を活用した 入場・決済サービスが運用開始

新たにデザインした顔認証入場ゲート導入、入場から決済までシームレスに利用可能

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:片倉 達夫、パナソニックグループの持株会社制への移行にともない2022年4月より「パナソニック コネクト株式会社」に変わります)は、株式会社読売巨人軍・株式会社読売新聞東京本社・株式会社東京ドームの3社に、東京ドームでの一般来場者を対象とした新たな入場・決済サービスにパナソニックの顔認証技術が採用され、運用が開始されることをお知らせします。顔認証決済は2022年3月2日のオープン戦、顔認証入場は3月25日の公式戦から運用開始予定です。



東京ドームでは、過去最大規模のリニューアルと、完全キャッシュレス化や顔認証技術の導入などのDX(デジタルトランスフォーメーション)を実施し、来場者に新しい観戦体験を提供されます※1。

このたびパナソニックの世界最高水準※2の顔認証技術を活用した顔認証クラウドサービス「KPASクラウド」の入場・決済・チケット連携のアプリケーションを採用いただき、巨人戦の入場から決済までをシームレスにご利用いただける新サービス「facethru(フェイスルー)」として運用が開始されます。当社は、感染症対策として有効な接触機会の低減を実現しながら、来場者の快適な空間づくりとスタッフの業務効率化に貢献し、さらなる東京ドームのサービス向上をサポートいたします。



当社は、2021年3月から東京ドームで関係者を対象とした顔認証入場、および一般来場者を対象とした顔認証決済の実証実験をおこなってまいりました※3。実証実験の環境において、マスク着用時でも99%以上の認証率を実現し、今回の本格導入に至りました。本格導入においては、顔認証クラウドサービス「KPASクラウド」と合わせて、各種IDを連携する当社独自の仕組みも開発。新たにデザインした顔認証入場ゲートは、3つの特長—(1)場所や時間、気象、季節で変わる設置条件に対応(2)運用面を考慮して移動・設置が容易(3)ユニバーサルデザインへの配慮等利用者が使いやすいデザイン—を、設計に反映しました。また、ゲート本体およびチケットについては株式会社イープラスと連携。さらにSuica※4についてはJR東日本メトロニクス株式会社※5が提供するクラウド型ID認証システム「ID-PORT※6」と連携させるなど、各種ID連携の仕組みを可能にしました。これにより、『GIANTS ID』を介して、顔認証による入場とSuica認証による入場を、1台の入場ゲートで実現しました。なお、当社の顔認証決済の常設型システム、KPASクラウドでチケット連携を活用した常設型システムの納入は、今回が初となります。



顔認証入場ゲート

今後も当社は、世界最高水準の顔認証技術の進化を継続するとともにより使いやすいサービスを提供し、スタジアムやイベント会場、テーマパークなどで入退場・決済・チケットングなどのアプリケーション連携により、顔1つですべてがシームレスにつながる新しいユーザ体験を、お客様・パートナーとの共創で実現してまいります。

## ■顔認証入場・顔認証決済 概要

### 【利用方法】

下記WEBサイトより顔画像を登録し、お手持ちの入場券と紐づけることで、ゲートにある専用レーンにて、顔認証で入場が可能となります。顔認証決済には別途クレジットカード情報の登録が必要です。

#### ▼顔画像登録WEBサイト

<https://facethru.u-entry.com/member/gxtd-dx/login>

#### ▼東京ドームリニューアル特設WEBサイト

<https://www.giants.jp/G/sp/dome-renewal/>

### 【顔認証入場】

事前に登録した顔画像と、ゲートの専用レーンに設置された端末のカメラで撮影した顔を照合し、OKの来場者のみ入場を許可します。

- ・対象：一般来場者（東京ドーム・巨人軍主催試合のみ）
- ・運用開始：2022年3月25日
- ・場所：東京ドーム20、22、25、40、41ゲートの一部レーン
- ・期待される効果：  
スムーズな認証による待ち時間の減少、接触機会低減による安心・安全な入場の実現、チケット紛失やなりすまし等のリスク低減。

### 【顔認証決済】

事前に顔画像とクレジットカード情報を登録しておき、店舗での支払い時に店頭で設置された端末のカメラで顔を認証、登録されている顔画像と照合し本人確認をおこなった後、PIN（暗証番号）を入力することで、決済をおこないます。

- ・対象：一般来場者
- ・運用開始：2022年3月2日
- ・場所：計5店舗  
G-STORE（23ゲート前）  
東京ドーム内4店舗（Dome Shop 104、105、TOKYO POTATO、DIAMOND BOX／CHAMPIONS SEAT FOOD & DRINK COUNTER）

・期待される効果:

接触機会の低減(感染リスク低減)、手ぶら決済による顧客体験の向上、待ち時間の削減



利用イメージ

## ■ パナソニックの「顔認証」技術について

当社の「顔認証」技術は、ディープラーニングを応用した世界最高水準の顔認証技術です。顔の向きや経年変化、メガネ・マスクなどにも影響されにくく、快適にご利用いただけます。

当社は、これまでも空港での厳格かつ円滑な本人確認や、アミューズメントパークでのチケットレス入退場、店舗でのキャッシュレス決済、オフィスでのICカードレス入退室などで、顔認証技術を応用したシステムを展開してきており、1日10万回超の固有の顔認証を達成してきました(当社調べ)。今後も、世界最高水準の顔認証技術と、現場での使いやすさを追求し、お客様との実証実験を重ねて実現したUXデザインとの融合により、安心・安全かつ効率化することに貢献してまいります。

### ▼ 顔認証クラウドサービス「KPASクラウド」

[https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services\\_facial-recognition-cloud-service](https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_facial-recognition-cloud-service)

### ▼ パナソニックの顔認証

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/solutions/facial-recognition>

### ▼ 現場センシングソリューション

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/gemba-sensing>

### ▼ 読売巨人軍 ニュースリリース(2022/2/24)

東京ドーム巨人戦顔認証サービス「facethru(フェイスルー)」誕生

[https://www.giants.jp/G/gnews/news\\_3916587.html](https://www.giants.jp/G/gnews/news_3916587.html)

※1 株式会社読売新聞グループ本社・株式会社読売巨人軍・株式会社東京ドーム・三井不動産株式会社  
ニュースリリース(2021/12/13)

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS01950/06fd6396/139f/497f/819b/f786aacdf54a/20211213105958176s.pdf>

※2 2017年4月28日に公開されたNIST公式の評価レポート(IJB-A Face Verification Challenge Performance Report, IJB-A Face Identification Challenge Performance Report)において世界最高水準の評価を得ており、引き続きNIST「FRVT 1:1」(2021年9月10日発行)の「Ongoing Face Recognition Vendor Test」においても、世界最高水準の評価結果を獲得しました。

※3 プレスリリース「東京ドームで顔認証入場・顔認証決済の実証実験を開始」(2021/3/2)

<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2021/03/jn210302-6/jn210302-6.pdf>

※4「Suica」・「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※5 JR東日本メトロニクス株式会社は、当社の顔認証パートナープログラムのメンバーです。

※6「ID-PORT」は、JR東日本メトロニクス株式会社の登録商標です。

## 【お問い合わせ先】

パナソニックシステムお客様相談センター

電話 0120-878-410(受付:9時~17時30分<土・日・祝日は受付のみ>)

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。